

# 思春期・若者のゲーム依存の理解と支援

近年、ゲームやインターネット等の行動嗜癖に関する依存が社会的な問題となっており、相談機関等においてもゲームの問題に関する相談が増加しています。

ゲームの依存への背景には様々な要因があり、単にゲームをやめることや利用時間を減らすことをめざすだけでは解決につながらない場合があります。そのため、ご本人やご家族が抱える様々な課題を理解し、多面的な支援を行うことが重要です。

本研修では、思春期・若者を中心としたゲーム依存への理解を深めていただくことによって、ゲームの問題で困っているご本人やご家族等への支援や対応にお役立ていただけます。ぜひ、ご参加ください。

**日時**

令和8年**11月16日(月)**13時30分から16時30分まで  
(受付は13時から)



[会場へのアクセスはこちら](#)

**場所**

大阪産業創造館 6階 会議室E  
(大阪市中央区本町1丁目4-5)

## ●講義「思春期・若者のゲーム依存の理解と支援」

講師 鳥取県立精神保健福祉センター  
所長 原田 豊 氏



**内容**

### 【講師略歴】

医学博士。精神保健指定医。日本精神神経学会精神科専門医・指導医。  
平成3年10月より、鳥取県立精神保健福祉センター所長を務められています。  
鳥取大学医学部附属病院や県内医療機関などで勤務されたのち、現職。

### 【講義内容】

不登校やひきこもり、自殺対策などの分野でもご活躍されている原田先生より、ゲームの問題で困っているご本人やご家族等への支援及び対応についてご講演いただきます。さらに、事例検討及びグループワークも実施いただき、参加者同士の意見交換を通して、支援の視点や実践的な対応について理解を深める機会とします。

## ●事例検討 ●グループワーク

**対象**

※相談対応の経験が概ね3年以上ある方が対象

保健所職員

市町村職員(障がい福祉・保健・児童福祉・生活困窮支援の担当課等)

子ども家庭センター職員、女性相談センター職員

その他相談支援に携わる関係機関職員

【上記について、政令市(大阪市・堺市)を除く大阪府内で勤務されている方】

大阪府内の精神科医療機関職員

大阪府内の高等学校・支援学校高等部等、大学等教育機関の職員

定員：64名  
(申込先着順)  
参加費 無料

**申込方法**

研修案内ページ内にある申込フォームか下記の二次元コードよりお申込みください。

こころのオアシス <https://kokoro-osaka.jp>

依存症対策研修 → [依存症相談対応・実践研修\(A-2\)](#)

「思春期・若者のゲーム依存の理解と支援」



締切:11月10日(火)17時まで

問い合わせ先

大阪府こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課  
TEL:06-6691-2818 FAX:06-6691-2814  
E-mail:kenkosogo-g25@sbox.pref.osaka.lg.jp

担当:村田・引地・村谷